

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第21週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,184人(定点あたり33.6)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。

前週に比べ増加した主な疾患は水痘と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑であった。

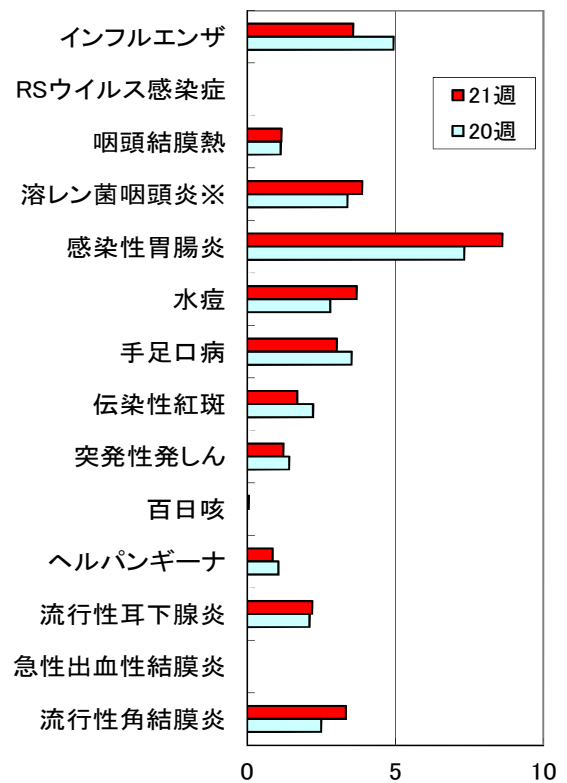
水痘の報告数は133人(3.7)で前週比132%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(3.5)の約1.1倍である。延岡(9.0)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では1歳から3歳で全体の約6割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は310人(8.6)で前週比117%と増加したが、例年同時期の定点あたり平均値(9.7)の約9割である。小林(23.0)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では1歳から4歳で全体の約半数を占めた。

マイコプラズマ肺炎1人が都城保健所から報告された。患者は8歳の男児で原因菌は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

クラミジア肺炎1人が高鍋保健所から報告された。患者は80歳代の女性で原因菌は *Chlamydia trachomatis* であった。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

疾患名	流行警報開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
咽頭結膜熱	3	1.2	延岡(4.8)	2歳~4歳で全体の約6割を占めた。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	3.9	延岡(10.5)、高千穂・中央(各9.0)	3歳~7歳で全体の約7割を占めた。
感染性胃腸炎	20	8.6	小林(23.0)	1歳~4歳で全体の約半数を占めた。
水痘	7	3.7	延岡(9.0)	1歳~3歳で全体の約6割を占めた。
手足口病	5	3.0	延岡(9.5)、日向(8.5)	1歳~4歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	1.7	宮崎市(2.6)、延岡(2.5)、日南・高鍋(各2.3)	3歳~7歳で全体の約6割を占めた。

※インフルエンザは、平成23年1月27日に流行警報開始基準値30を上回り流行警報を発令しましたが、第21週において県内全ての保健所で終息基準値10を下回ったため、警報を解除します。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 9 例が延岡 (5 例)、宮崎市 (4 例) 保健所から報告された。
《宮崎市保健所》・80 歳代の女性で肺結核。咳、発熱がみられた。
・40 歳代の男性で肺結核。
・30 歳代の男性で無症状病原体保有者。
・80 歳代の男性で肺結核。咳、食欲低下がみられた。
《延岡保健所》・70 歳代の女性で結核性胸膜炎。咳、痰、発熱、胸痛、呼吸困難、胸水貯留がみられた。
・60 歳代の女性で無症状病原体保有者。
・60 歳代の女性で無症状病原体保有者。
・10 歳代の女子で無症状病原体保有者。
・60 歳代の女性で無症状病原体保有者。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が宮崎市保健所から報告された。2 歳の女児で腹痛、水様性下痢がみられた。原因菌は O121 (VT 産生)。
- 4 類感染症 : 日本紅斑熱 1 例が日南保健所から報告された。60 歳代の男性で発熱、刺し口、発疹、肝機能異常がみられた。
- 5 類感染症 : 報告なし。

■ 全国第 20 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 16.8 で、前週比 97% とほぼ横ばいであった。今週増加した主な疾患は手足口病と伝染性紅斑で、減少した主な疾患は水痘とインフルエンザであった。

手足口病の報告数は 2,033 人 (0.65) で、前週比 210% と増加した。宮崎県 (3.5)、岡山県 (3.2)、香川県・福岡県 (各 2.9) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳で全体の約 7 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 2,880 人 (0.92) で、前週比 118% と増加した。宮崎県 (2.2)、山形県 (2.0)、栃木県・静岡県 (各 1.9) からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 7 歳で全体の約 7 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 7,931 人 (1.6) で、前週比 82% と減少した。沖縄県 (16.2)、佐賀県 (6.9)、長崎県 (5.4) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 24%、6-9 歳が 31%、10-14 歳が 25%、15-19 歳が 6%、20-50 歳代が 12%、60 歳以上が 2% を占めた。

□ 全数把握対象疾患

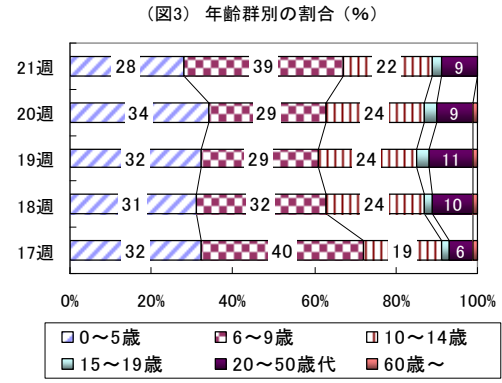
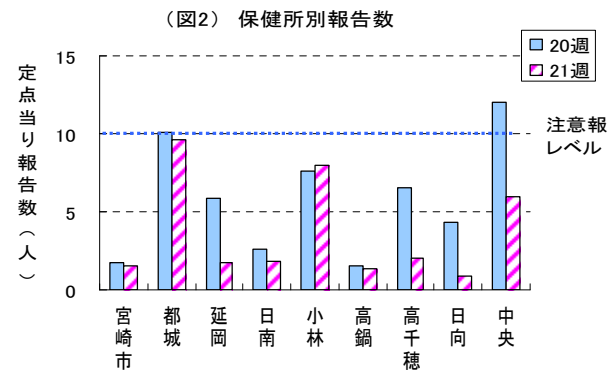
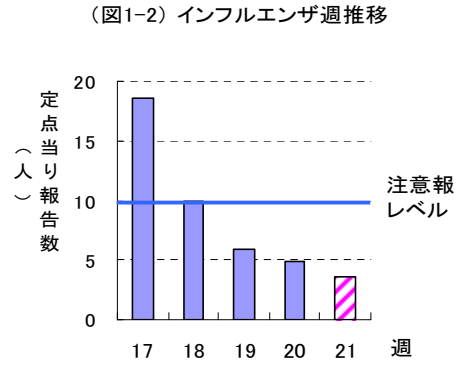
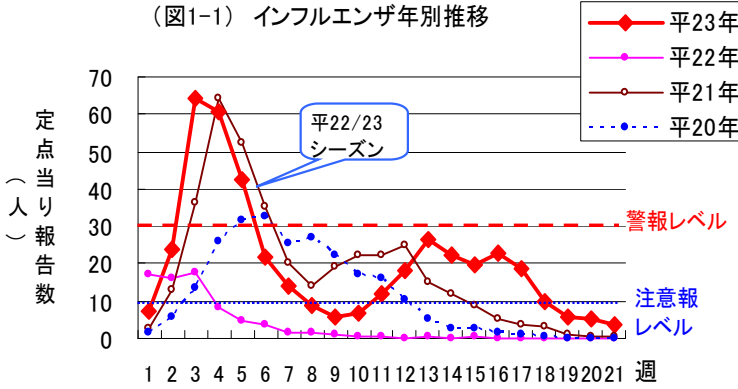
- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 306 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 3 例、腸管出血性大腸菌感染症 64 例、腸チフス 2 例、パラチフス 1 例
- 4 類感染症 : E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 2 例、つつが虫病 8 例、デング熱 1 例、日本紅斑熱 1 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 12 例、レプトスピラ症 1 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 10 例、ウイルス性肝炎 5 例、急性脳炎 2 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4 例、後天性免疫不全症候群 9 例、ジアルジア症 1 例、髄膜炎菌性髄膜炎 1 例、梅毒 4 例、破傷風 2 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風疹 13 例、麻しん 37 例

■ インフルエンザ情報《県内第 21 週、全国第 20 週（再掲）》

□ 県内第 21 週インフルエンザ発生動向

平成 23 年 5 月 23 日～5 月 29 日までの 1 週間で 211 人（定点あたり 3.6）の報告があり、前週と比べ 72%と減少した（図 1-1,2）。都城（9.6）、小林（8.0）、中央（6.0）保健所からの報告が多かった（図 2）。年齢別では 5 歳以下が全体の 28%、6-9 歳が 39%、10-14 歳が 22%、15-19 歳が 2%、20 歳以上が 9%を占めた（図 3）。

また、第 21 週において県内全ての保健所で終息基準値(10)を下回ったため警報は解除されました。



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○:警報レベル、△:注意報レベル、-警報・注意報レベルなし

保健所	今週（第21週）		1週前（第20週）		2週前（第19週）		3週前（第18週）		4週前（第17週）		5週前（第16週）	
	5/23～5/29		5/16～5/22		5/9～5/15		5/2～5/8		4/25～5/1		4/18～4/24	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	1.6	-	1.7	-	4.2	-	7.6	-	17.3	△	21.0	△
都城	9.6	-	10.1	△	7.7	-	15.5	△	26.8	△	26.8	△
延岡	1.7	-	5.9	-	6.3	-	16.4	△	26.9	△	28.1	△
日南	1.8	-	2.6	-	5.0	-	6.8	-	16.0	△	18.4	△
小林	8.0	-	7.6	-	4.2	-	4.8	-	8.6	-	11.6	△
高鍋	1.3	-	1.5	-	5.2	-	7.0	-	12.5	△	26.5	△
高千穂	2.0	-	6.5	-	3.0	-	3.0	-	2.0	-	9.5	-
日向	0.8	-	4.3	-	10.7	△	12.8	△	24.5	△	31.7	○
中央	6.0	-	12.0	△	6.5	-	4.0	-	7.5	-	13.0	△

□ 全国第 20 週インフルエンザ発生動向

平成 23 年 5 月 16 日～5 月 22 日までの 1 週間で 7,931 人（1.6）の報告があった。前週の 82%と減少した。沖縄県（16.2）、佐賀県（6.9）、長崎県（5.4）からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 24%、6-9 歳が 31%、10-14 歳が 25%、15-19 歳が 6%、20-50 歳代が 12%、60 歳以上が 2%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第21週(05月23日～05月29日)

疾病名		第20週	第21週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	292	211	25	96	12	9	40	8	4	5	12
	定点あたり	4.95	3.58	1.56	9.60	1.71	1.80	8.00	1.33	2.00	0.83	6.00
RSウイルス 感染症	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	41	42	1	12	19	5		1		3	1
	定点あたり	1.14	1.17	0.10	2.00	4.75	1.67	0.00	0.25	0.00	0.75	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	122	140	21	11	42	9	1	23	9	15	9
	定点あたり	3.39	3.89	2.10	1.83	10.50	3.00	0.33	5.75	9.00	3.75	9.00
感染性胃腸炎	報告数	264	310	56	51	23	18	69	24	7	54	8
	定点あたり	7.33	8.61	5.60	8.50	5.75	6.00	23.00	6.00	7.00	13.50	8.00
水痘	報告数	101	133	39	11	36	4	15	11		16	1
	定点あたり	2.81	3.69	3.90	1.83	9.00	1.33	5.00	2.75	0.00	4.00	1.00
手足口病	報告数	127	109	13	8	38	6	1	7	2	34	
	定点あたり	3.53	3.03	1.30	1.33	9.50	2.00	0.33	1.75	2.00	8.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	80	61	26	5	10	7		9		4	
	定点あたり	2.22	1.69	2.60	0.83	2.50	2.33	0.00	2.25	0.00	1.00	0.00
突発性発しん	報告数	51	44	12	10	2	5	4	5	1	4	1
	定点あたり	1.42	1.22	1.20	1.67	0.50	1.67	1.33	1.25	1.00	1.00	1.00
百日咳	報告数		2	1					1			
	定点あたり	0.00	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	38	31	5	8	4	1				13	
	定点あたり	1.06	0.86	0.50	1.33	1.00	0.33	0.00	0.00	0.00	3.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	76	79	51	4	4	11	2	4	1	1	1
	定点あたり	2.11	2.19	5.10	0.67	1.00	3.67	0.67	1.00	1.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	20	13	3	4						
	定点あたり	2.50	3.33	4.33	1.50	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～21週)

2類感染症	結核	114例(9)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	16例(1)				
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	2例	日本紅斑熱	1例(1)
	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	3例
5類感染症	髄膜炎 菌性髄膜炎	2例	後天性免疫不全症候群	6例	梅毒	3例
	破傷風	3例	風しん	1例	麻しん	1例

●動物感染症累積報告数(2011年1週～21週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲